

授業科目 発達障害系評価学実習		科目コード番号		
【担当教員名】 ○押木利英子 小泉益朗	対象学年	2	対象学科	理学
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30
【概要】 発達障害系理学療法概念と歴史を解説し、発達障害系理学療法の内容とその領域の概要を講述する。運動発達の原理と機序および運動学習の諸理論を解説し、身体運動との関連について理解を深める。脳性麻痺の異常運動発達について講述し諸発達検査法を解説して、発達障害を発達という視点から分析する方法を教授する。				
【使用図書】				
教科書・参考書等	書名等	著者名	発行所	発行年・価格・その他
教科書	子どものリハビリテーション医学 乳児の発達のみかたのエッセンス	神内一保・安藤徳彦編 吉岡 博	医学書院 診断と治療社	1999年 9500円＋税 2001年 1400円＋税
参考書	運動学実習 第2版 理学療法検査法 脳性麻痺の類型別運動発達 写真でみる乳児の運動発達	中村隆一・斉藤宏 松澤 正 カレル&ベルタ・ポバス 木下孝子・中村 勇	医歯薬出版 金原出版 医歯薬出版 共同医書出版社	2001年 6700円＋税 1998年 6200円＋税 2001年 2550円＋税 1998年 5500円＋税
その他配布資料	各種評価用紙他			
【評価方法】 出席 実習態度 レポート 論述試験				
【履修上の留意点】 「発達障害系評価学」と同時進行する。 評価技術の習得には理論の理解とくりかえしの練習が必要である。 毎回、動きやすい服装で参加のこと。				
【本科目の一般教育目標：GIO (General Instructional Objective)】 発達障害系理学療法の基礎的知識を得るため正常運動発達を理解し、脳性麻痺の異常発達の学習を通して発達障害を評価するための基本的な知識と方法を習得する。				
【行動目標：SBO (Specific Behavioral Objectives)】 1. 発達障害系理学療法の領域とその適応を説明できる。 2. 療育の歴史を把握しその目的と意義を説明できる。 3. 成熟・成長・発達の違いを説明できる。 4. 運動発達研究の歴史的展開を説明できる。 5. 上位中枢の機能をふまえて中枢神経系疾患の病態を把握できる。 6. 反射テストの基本的方法が実施できる。 7. 正常運動発達を発達過程にそって具体的に説明できる。 8. 構造・順序・移行分析の基本的方法が実施できる。 9. 実際の動作に対する動作分析の方法を選択し実施できる。 10. 脳性麻痺の病態を把握できる 11. 脳性麻痺児の異常運動発達を時系列で説明できる。 12. 各種発達テストの基本的方法が実施できる。 13. 脳性麻痺児の評価方法を選択し実施出来る。 14. 総合的に病態を説明できる。				

授業計画

教室

回数	授業内容	SBO 番号	担当教員	教授学習法	学習課題 又は備考
1	発達障害系理学療法目的と展開 発達障害系理学療法の領域と適応 療育の歴史と現状	1 2	押木利英子	講義	
2	発達とは 成熟・成長・発達 運動発達研究の歴史と現在	3 4	同上	講義	
3	反射テストの方法と実際	5 6	同上	実習	
4	正常運動発達【1】 胎児の運動発達	7	同上	実習	
5	正常運動発達【2】 6ヶ月までの運動発達	7	同上	実習	
6	正常運動発達【3】 6ヶ月以降の運動発達	7	同上	実習	
7	発達分析【1】 発達分析の方法と手順	8 9	押木利英子 小泉益朗	実習	
8	発達分析【2】 構造機能・順序・移行分析	8 9	同上	実習	
9	脳性麻痺の概念 脳性麻痺の定義、病態、分類	10	押木利英子	講義	
10	脳性麻痺の異常発達【1】 痙直型四肢麻痺児の運動発達 痙直型両麻痺児の運動発達	10 11	押木利英子 小泉益朗	実習	
11	脳性麻痺の異常発達【2】 痙直型片麻痺児の運動発達 アテトーゼ型四肢麻痺児の運動発達	10 11	同上	実習	
12	脳性麻痺の評価【1】 運動年齢検査 遠城寺式発達検査表 乳幼児精神発達質問紙 デンバー式発達スクリーニング検査 ミラニーの運動発達評価表	12	同上	実習	
13	脳性麻痺の評価【2】 評価の手順と実際	13 14	同上	実習	
14	脳性麻痺の評価【3】 評価の手順と実際	13 14	同上	実習	

その他